

「この道を。力強く、前へ。」

私たち自民党は、この度の参議院議員選挙において、多くの国民・県民の皆さまの負託を受けて、安定した政権基盤を確保することができました。世界経済や国際情勢が不透明さを増す中、「安定した政治」が何より重要であり、自公の安定した政権による政策継続により経済を成長させ、地域の活性化や地域住民の生活を豊かにしていくことが、わが党の責任であります。

秋田県では、地域特性を活用した産業振興と雇用対策、若者の定着に向けた移住・定住対策、官民一体となった少子化対策、そして住み慣れた環境で心豊かな生活を送るために新たな地域社会を形成することは、県の喫緊の課題となっております。

私たち県議会自民党会派は、県民の皆さまとの意見交換や対話集会を通して、活力ある秋田の復活を目指し、積極的な施策の展開により一層努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻をくださいますようお願い申し上げます。



暑中お見舞い申し上げます。

蒸し暑い毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。いつも大変にお世話になりまして誠に有難うございます。

さて、この度の参議院選挙におきましては、皆様方の力強いご支援をいただき、おかげ様で現職の「石井ひろお」候補を再び国政へお送りいただくことができました。本当に有難うございました。厳しい選挙戦ではありましたが、心暖まる応援のもとで戦い抜くことができました。結果といたしましては、与党の圧勝となりましたが、アベノミクスが地方へまだまだ及んでいないとの声もいただきましたし、TPPにゆれる農業問題も重要課題です。これからも、おごることなくしっかりとした議論を重ねながら、政権運営につとめていかなければならないと思います。

話は変わりますが、この5月12日、13日の両日、私が会長をつとめる「秋田県議会がん対策推進議員連盟」のメンバーで、東京にあります「国立がん研究センター」と、がん対策では先進県の「長野県庁」を訪問いたしました。現在、秋田県のがん対策は、早期発見につながるがん検診率の向上が中心となっていますが、私はそれ以前のがんにならないためのがん予防対策にも、もっと取り組む必要があると考え、そのための対応を探るための調査でありました。生活習慣や生活環境の改善の方法など勉強してまいりました。いずれ県民運動につなげられるよう対策をつめていきたいと思っております。

今後とも、皆様のご支援・ご指導をよろしくお願い申し上げます。



秋田県議会議員
鶴田 有司